

笠松町第6次総合計画中間案に対するパブリックコメントでいただいたご意見について

【意見募集結果】

実施時期	令和2年12月17日 から 令和3年1月15日まで		
意見提出状況	提出者数	7	人
意見提出方法	郵送	0	人
	ファクシミリ	1	人
	電子メール	1	人
	直接持参	5	人

【いただいたご意見の要旨と笠松町の考え方】

基本方向1 めくもりと笑顔あふれる思いやりのまち について

意見番号	いただいたご意見の要旨	笠松町の考え方
1	低料金で借りられる町営住宅を設置してもらいたい。	町内での公営住宅の整備計画はありませんが、「地域福祉の推進」に関する施策の中で、「生活支援体制の充実」を図り、誰もが支え合いながら暮らしていける地域共生社会の実現に向け、取り組んでまいります。
2	高齢者の健康維持のため、公園や空き地を利用して屋外健康器具を設置してはどうか。	誰もが心豊かな生活を送ることができるよう、健康づくり支援に努めることは重要であり、「生涯を通じた健康づくり」に取り組む中で、屋外健康器具設置を検討してまいります。なお、みなと公園や福祉会館、蘇岸築堤記念碑公園に健康ベンチを設置しております。
3	高齢者の「地域デビュー」を推進する内容を入れてはどうか。 ①「WAI WAIカフェ」少人数グループでカフェにいる気分で何でも話し合いができるようなグループに対する支援 ②「高齢者の生きがいづくり」2世帯・3世帯同居の推奨と支援、健康寿命向上のための「軽スポーツ」の推奨と継続支援 ③「高齢者の地域参加」地域参加の意義とチャンスづくりの支援、地域デビュー講座の開講とボランティア活動の推奨と継続支援	高齢者がより一層活躍できる社会の実現のため、「高齢者福祉の推進」に関する施策の中で、「時代に合った高齢者の地域での活動や生きがいづくりの推進」の取り組みにおける具体的な事業として検討してまいります。

基本方向2 未来へ繋ぐ心豊かな人づくりのまち について

意見番号	いただいたご意見の要旨	笠松町の考え方
4	生涯学習講座を増やし、軽スポーツを含め、多種多様な講座を実施してはどうか。	生涯学習講座は、生活に潤いと楽しみを与え、多くの人とふれあう機会を提供する場であり、「ライフステージや学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供」を図り、広く多くのかたに興味を持っていただけるような「生涯学習の充実」に取り組んでまいります。
5	空家や笠松小学校の空き教室を利用してギャラリーを設置し、文化のまちを発信してはどうか。	住民が気軽に文化にふれる機会を増やすため、「歴史・文化の継承と活用」に関する施策の中で、「文化を活かした住民活動の活性化」や「文化を活かしたまちづくりの推進」の取り組みにおける具体的な事業として検討してまいります。

基本方向3 にぎわいと活力あふれる創造のまち について

意見番号	いただいたご意見の要旨	笠松町の考え方
6	笠松競馬場について、別の組織ではあるが、町の象徴であり、計画に掲載すべきではないか。	笠松競馬場につきましては、重要な「地域資源」のひとつと位置づけ記載しており、「町の資源を活かした魅力づくり」の取り組みの中で、より一層の連携強化を図り、魅力発信に努めてまいります。
7	にぎわいを創出し、生活を楽しむ。防災で安心なまちの基盤として、旧名鉄東笠松駅周辺及び三角駐車場を整備して「リバーサイド横丁笠松（仮称）」を創設してはどうか。	町の資源を活かした魅力づくりを進めるため、「観光・イベントの推進」に関する施策の中で、「リバーサイドタウンがさまつ計画の推進」の取り組みにおける具体的な事業として検討してまいります。
8	地域コミュニティ活動（資源ごみ当番、町内一斉清掃など）について、体の不自由なお年寄り・共働き家庭・子育て中の家庭にとって負担が大きいため、完全自由参加にしてほしい。	町内会は地域の中心的組織として活動し、地域の助け合いや社会教育の場としての機能を担ってきましたが、近年の多様化するライフスタイルや価値観により町内会離れが進んでいる状況でもあります。「コミュニティづくりに向けた意識づくり」に取り組む中で、幅広く様々な世帯の方が町内会活動へ理解し参加できるよう、町内会へ社会情勢を踏まえた活動の見直しを働きかけてまいります。
9	広報等で各方面のスキル、技能、趣味、特技等を有する方を募り、ボランティア講座を開設し、町民のスキルアップを図る。	意欲のある豊かな経験を持った多様な方々が活躍できるようバックアップすることは今後のまちづくりに重要と考えています。「まちづくり活動を担う人材の育成」と「まちづくり活動を支援する体制の整備」を図る中で、住民による自主的なまちづくり活動が積極的に進められるよう取り組んでまいります。
10	人口ビジョンの達成のためには、ベッドタウンとして転入者数を増やす必要がある。	令和12年度の将来人口22,000人の達成には、転入者数を増やすことに加え転出者を減らすことも重要だと考えています。「にぎわいと活力あふれる創造のまち」の各施策を展開する中で、「移住定住の促進」や「町の資源を活かした魅力づくり」に向けた取り組みを実施してまいります。

基本方向4 便利で快適に暮らせるやすらぎのまち について

意見番号	いただいたご意見の要旨	笠松町の考え方
11	下羽栗地域には、みなと公園や運動公園のような、子どもたちが平日に遊べる公園がないため、公園の整備をしてほしい。	公園整備については、町の魅力を最大限に発揮し、快適に生活できる利便性を備えた空間を目指し、「土地の計画的な有効活用」や「うるおいのある景観づくり」に取り組む中で、「持続可能な財政運営の推進」を踏まえて今後検討してまいります。
12	今デマンド交通を取り入れても、利用者数が減少するうえ、経費も減少しないことから、削除するべき。	高齢者などの交通弱者の移動手段として公共交通のニーズは、今後ますます高まり多様化するものと認識しています。「公共交通体系の充実」に関する施策を展開する中で、デマンドバスの実証実験の実施や公共施設巡回住民バスの商業施設への乗入れの検討など、総合的で効率的な公共交通の実現に向け取り組んでまいります。
13	巡回住民バスのバス停をスーパー等の商業施設に設置することで、利便性の向上を図る。これにより、定住促進等のPRにもなる。	
14	新たに建設されるごみ処理場の今後について明示されるべきではないか。	次期ごみ処理施設については、「循環型社会の構築」に「ごみの焼却処理は～早期に経済性の優れた施設の建設、運営を行うことが必要」と記載しております。現在、「次期ごみ処理施設整備基本計画」を岐阜羽島衛生施設組合の構成市町で策定し建設着工の準備をしており、今後も情報開示に努めてまいります。

基本方向6 「官」「民」協働で築き上げる持続可能なまち について

意見番号	いただいたご意見の要旨	笠松町の考え方
15	団体（老人会、町内会など）への補助金は、一部の人のためではなく、例えば資源ごみ回収の業者委託など、どの家庭にも還元されるような税金の使い方をしていただきたい。	行政と地域住民の「住民協働」による行政運営の推進には、行財政の説明責任がより一層求められます。「透明性の高い計画的な財政運営」の中で、補助金の使途の適正化に努めるとともに「積極的な行財政情報の公開」により行財政の透明化を図ってまいります。
16	「公共施設総合管理計画」に基づき、長期的な視点で公共施設の更新、統廃合を進める必要があるとされているが、この10年間に更新時期を迎える公共施設一覧を示し、改めて対処方針を明示するべきではないか。 また、笠松小学校の空き教室の活用についての協議会を設置する必要があるのではないか。	公共施設の多くは老朽化が進んでおり、修繕費用をはじめ、維持管理にかかる財政負担は増大しつつあります。「効率的・効果的な行政運営の推進」として「『公共施設等総合管理計画』の適正な推進」に取り組む中で、各施設の個別計画についても策定してまいります。また併せて、空き教室をはじめとした公共施設の効率的な活用についても検討してまいります。

笠松中学校1年1組の生徒から、総合的な学習（若鮎）の時間の「学級独自活動」において検討し、ご意見をいただきました。これらのご意見は、各施策の中で検討してまいります。

いただいたご意見
・基本構想、基本計画、実施計画という構成に賛成である。新型コロナウイルス感染症により新たな生活様式への転換があり、社会への不満がたまっている中、まちづくりの基本理念や将来像を明らかにすることで、町民が一丸となって動き出すことができる ・社会潮流で、新型コロナウイルス感染症に対して柔軟に対応していくという記載があるのは良いと思う ・SDGsの普及をしてほしい ・SDGs 11「住み続けられるまちづくり」について、総合的な防災・災害時対策の推進、火災予防・消防体制の整備、救急救命体制の整備、犯罪を未然に防ぐ環境づくり、地域防犯活動の育成、交通事故を防止する環境づくり、住民主体の交通安全活動の促進 の7項目がとても良いと思った ・健康相談、高齢者に関する相談や情報提供、各年齢に応じた健診の実施について、住み続けたいと思えるよい事業だと思った ・障がいのある方が相談できる場所が増えると良い ・高齢者がいきがいを持てるよう、支援体制の強化、職業訓練を実施や、安全にスポーツが楽しめる施設の整備をしてほしい ・町内に買い物ができる場所が増えると良い ・公園の整備に賛成です。乳児や幼児が遊ぶ場所を作してほしい ・横断歩道で旗手の方がいるのがありがたい ・環境問題に取り組むことは良いことだと思う ・防災への取り組みに賛成である。「防災訓練」を強化し、AEDやICカードを普及してほしい。防災グッズを配ったり、避難時に必要な物を載せた広告を町中に貼ってはどうか ・SDGsへの取り組みをどんどん進めてほしい ・義務的経費を抑制しなければならない財政状況であるならば、人工知能などの先端技術を使っていくことには賛成できない。今日を生きることが大変だという方々への対策があり、町全員が幸せでいられるというならば先端技術を使ってもよいと思う ・先端技術を駆使すると、助け合い・思いやりがあふれる町ではなくなるかもしれない、高齢者の方は使い方がわからないことも考えられるので、先端技術を駆使することには反対です ・義務的経費の抑制など、税制基盤の向上に努めるという意見に賛成である